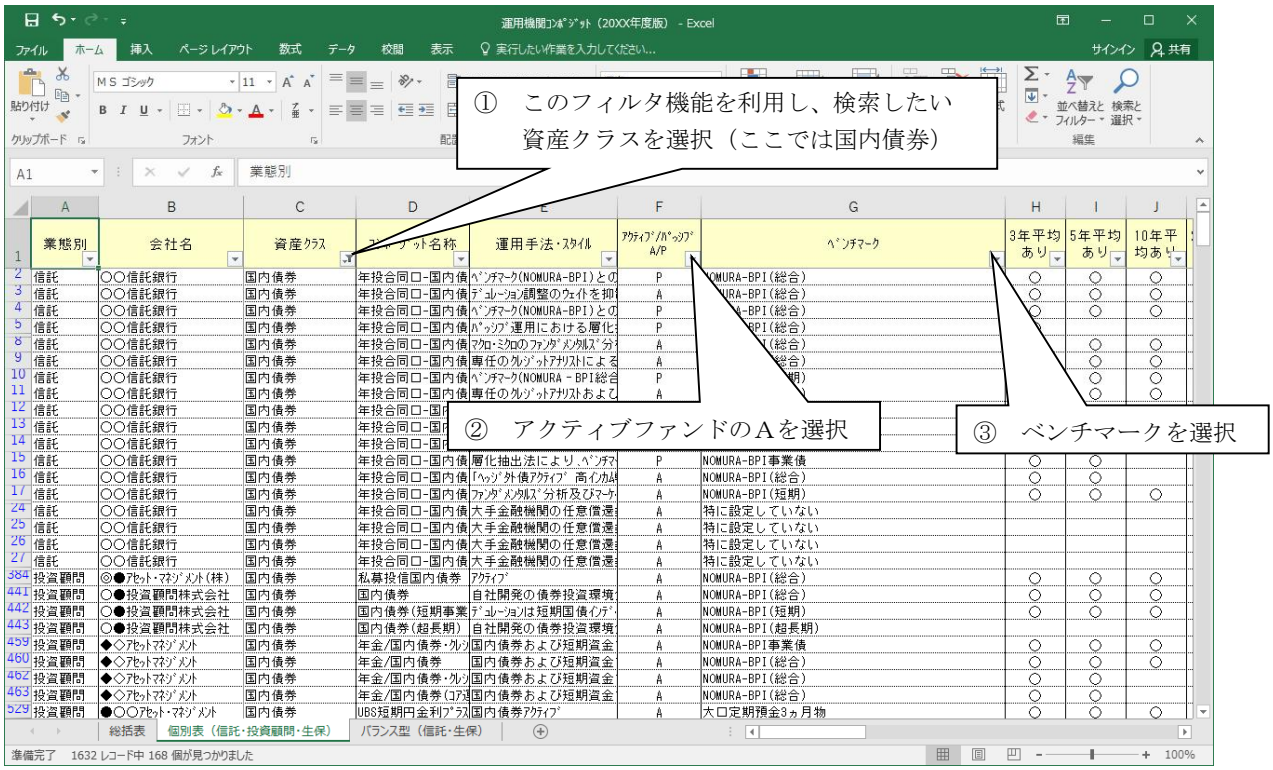
運用受託機関プロダクツ情報の利用例

１．コンポジットの集約

運用受託機関プロダクツ情報の個別表より、＜フィルタ＞機能を利用し、コンポジットを資産クラス、アクティブ/パッシブ（A/P）、ベンチマーク等の各項目に基づいて特定のユニバースに集約し、同様のスタイルを持つコンポジットを一覧することができます。

（例）＜国内債券のアクティブ運用ファンドを検索＞



※　資産クラスは以下の 29 分類

①国内債券、②国内株式、③外国債券、④ヘッジ付外国債券、⑤ヘッジ付外国債券&為替オーバーレイ、⑥グローバル債券、⑦ヘッジ付グローバル債券、⑧外国株式、⑨ヘッジ付外国株式、⑩グローバル株式、⑪ヘッジ付グローバル株式、⑫新興国株式、⑬為替オーバーレイ、⑭短期資金、⑮バランス型、⑯総合口、⑰マルチアセット、⑱ヘッジファンド、⑲プライベートエクイティ、⑳プライベートデット、㉑インフラストラクチャー、㉒ＲＥＩＴ、㉓私募ＲＥＩＴ、㉔不動産私募ファンド、㉕コモディティ、㉖マネージドフューチャーズ、㉗保険投資（キャットボンド戦略）、㉘その他のオルタナティブ、㉙その他

※　中長期の運用実績の分析が容易となるようリターンの「3 年平均」、「5 年平均」、「10 年平均」データの有無を“〇”印で表示しています。

※　掲載されているリターンが運用報酬控除前の場合は「運用報酬」の項目に“控除前”と、運用報酬控除後の場合は“控除後”と表示しています。

※　運用報酬率については、消費税抜きの料率としています。また、モデルケース（委託額が「1 億円」から「100 億円」まで）における各平均報酬率を表示しています。

２．コンポジット・リターン（絶対リターン）による順位付け

ある特定のユニバースに集約後、各年度、3 年平均、5 年平均、10 年平均のリターンについて、＜並べ替え＞機能を使ってリターンの高い順に並べ替え比較することができます。

３．ベンチマーク超過リターンによる順位付け

ある特定のユニバースに集約後、各年度、3 年平均、5 年平均、10 年平均の超過リターンについて、＜並べ替え＞機能を使って超過リターン順に並べ替え比較することができます。

※ G 列のベンチマークが「特に設定していない」の場合、各年度の超過リターンには、各年度リターンを再掲することとしています。

４．リスク調整後リターン（インフォメーション・レシオ）による順位付け

3 年平均、5 年平均、10 年平均の超過リターンを、それぞれの期間に対応した実績ＴＥ（トラッキング・エラー：超過収益率の標準偏差）で割ってインフォメーション・レシオ（超過収益÷トラッキング・エラー）が計算できます。

アクティブファンドについては、このインフォメーション・レシオを高い順に並べ替え、リスク調整後リターンを比較することができます（＝アクティブリスク）。一方、パッシブファンドについては、ＴＥの値が小さければベンチマークとの連動性が高いことを表しますので、ＴＥを低い順に並べ替えパッシブファンドの精度を確認することができます。

※ G 列のベンチマークが「特に設定していない」の場合、実績ＴＥは、実績標準偏差（月次リターンを用いて計算した標準偏差の年率換算）となります。「特に設定していない」を仮に「ゼロ％をベンチマークとする」と同じと考えますと、アクティブリスクとして把握できます。

５．契約先運用受託機関のリターンと他のコンポジット・リターンの比較

契約している運用受託機関の運用手法等から、運用しているポートフォリオの属するコンポジットを探し、同一資産クラス、同様の運用スタイルを持つ他のコンポジットのリターンと比較することにより、ユニバース比較を行うことができます。

６．資産規模の比較、検証

契約件数や資産残高についても併せて確認、比較することができます。件数や資産残高の増減についてその傾向を確認することや、運用手法・運用スタイルから各コンポジット合計の資産額が妥当な規模かどうかを確認することなども重要です。

※ 当プロダクツ情報の利用にあたっては、以下の点にご留意ください。

- **当該データは、契約先運用受託機関の定量評価、または新規契約先候補となる運用受託機関の選定等の際に参考にしていただくことを目的としており、特定の運用受託機関や特定のプロダクトを推奨するものではありません。また、当該データは、調査時点で運用受託機関各社より提供されたものであり、当連合会が当該データに関し、その正確性、最新性、完全性等を保証するものではありません。**
- **当資料は、企業年金（「基金型確定給付企業年金」及び「規約型確定給付企業年金」、「厚生年金基金」）の皆様の資産運用に資することを目的に、運用受託機関各社から提供された運用プロダクツの情報をまとめたものです。目的外の利用はお控えください。**
- **資産クラス、アクティブ/パッシブ、ベンチマークが同一のコンポジットであっても、運用手法等の違いから、単純に比較できないことがあります。**
- **運用報酬データについては、業態（信託銀行、投資顧問、生命保険）やコンポジット間でその構造が異なることから、単純に比較できないことがあります。**
- **運用報酬データについては、複数の商品を組み合わせた場合などで記載の数値と異なることがあります。**